



パリワールニュースレター



ヒンディー語でパリワールは“家族”

パリワール会員の皆様、こんにちは！毎日暑いですね。
激しい雨で被災された方々、ご冥福とこれからの生活をお祈りしたいと思います！
パリワールの会員の皆様もお元気でいらっしゃいますか？
長い歳月インドを愛して下さい、感謝しています。
私たちも頑張りますので、これからも宜しくお願い致します。
皆様のご健康とお幸せをお祈りいたします！

会長 安田恵実

現地特派員のご紹介

私たちの新しい仲間、内藤ゆかりさんをご紹介します。

内藤さんはインド人男性と結婚し、デリーで生活しています。今年の2月には長男を出産し、今は仕事と子育てに奮闘しながら、パリワールの現地特派員の活動もしています。

今回は、NGO へのパソコン寄贈、田舎の学校への文房具とホワイトボード寄贈について、内藤さんからの報告を記載します。

その前に、デリーで生活をしていて、日本と違う事や驚いた事を書いてもらいました。まずはその内容から読んでください！

驚いた事 🦜

- ・グループでスリをしに村から出てくる人達がいると聞いてびっくりしました。私もバスで7~8人くらいの女性グループに囲まれ隅にギュウギュウに押し込められ、金銭を取られそうになったことがあります。
- ・会社のスタッフは嘘の領収書を作成し、副収入を得ています。バレて注意されても気にしないし、また新しい副収入の道を探します。
- ・賄賂社会。スムーズに物事を進めるにはお金が必要です。
- ・警察官の荷物チェックは小遣い稼ぎです。危ないものを持っていなくても、いちゃもんをつけてお金をせびられます。
- ・インド人は自分の都合が悪くなると声を荒らげます。喧嘩は日常茶飯事。
- ・地下鉄は降りる人が優先でないため、前もってドアの前で待機しないと降りられません。
- ・並んでいる時に少しでも隙間があると割り込まれてしまいます。(隙間がなくても割り込まれる時もあります)
- ・運転免許証は買うものです。(試験を受けて取得する人は少ない。)
- ・職業教師の人に列車の窓からのゴミの捨て方を教わりました。
- ・時間の概念が全く違います。「いつ？」と尋ねると、「朝」とか「昼」とか「後で」とか言われて、何時なのかが分かりません。
- ・新築の建物でも修理が必要です。電気や水のトラブルがあります。誰かが一度住んで修理済の物件が見つかるラッキー。
- ・ゴミをゴミ箱に捨てる習慣がない為、少しの雨でも洪水になってしまいます。

でも、いいところもあるんですよ



- ・インド人は言語能力に長けています。
- ・すぐ友達になれます。
- ・公共の場で赤ちゃんが泣いても、あまり気にしなくて大丈夫。
(大人の方が赤ちゃんよりうるさい可能性あり。)
- ・妊娠中、座りなさいとみんなが席を譲ってくれます。
(臨月近くにならないと太っている人も多い為気づいてもらえませんが。)
- ・「カバンのファスナーが開いているわよ」、「赤ちゃんの頭が出ているわよ」など、通りがかりの人が気軽に声をかけて教えてくれます。
- ・何でも有りな為、細かいことは気にしなくていいです。
- ・日本では迷惑をかけてはいけないと頼みづらい事でも、インドでは気軽に頼めます。
- ・忘れっぽい為、あとあとひきずらなくてよいです。

安全面、衛生面、マナー面では日本は本当にすごい国
だなと実感します。
でも、他人に気遣いが要らないというのは、インドの
方がいいかなあ・・・



NGO にパソコンを寄贈

2017年1月14日に、LET 'S THE SPIRIT MOVE (レッツ・ザ・スピリット・ムーブ)
という NGO に、パソコンを寄贈しました。



後列、左から二番目が
内藤さん

後列右のご夫婦が
運営者

前列、右が内藤さん
のご主人

運営者のエリック・セラフィンさんとアン・セラフィンさんご夫妻は、熱心なクリスチャンで、2005年にコルカタからデリーへ引っ越されました。エリックさんは保険会社で夜勤での勤務をされ、昼間はNGO活動で、睡眠時間3-4時間だけだそうです。



主な活動内容は、恵まれない子供たちへの教育の提供です。

デリーでは未だに人口の約半数(約1,000万人)がスラムで生活していて、無料の公立学校にも通っていない子供達も沢山います。そんな子供達に学業だけでなく、聖書を通して精神的な成長も助け、将来リーダーになれるよう教育しています。(聖書を通してと言っても、クリスチャンになることを勧めているわけではありません。)

また、語学力の向上促進の為に、英語だけを使う環境にしています。

奥様のアンさんは、身寄りがない女性や貧しい女性への裁縫職業訓練を担当されています。その訓練の後には、仕事を手に入れる事ができるようになっています。また、恵まれない妊婦さんへ薬や食べ物の提供もされています。



このNGOには、子供達の為のパソコンが1台しか無かったので、今回パリワールから1台を寄贈し、とても喜んでもらえました。公立学校でもパソコンの勉強は充分には出来ないのも、子供達の将来の為にとっても大切です。



手作りのお花を売って、活動資金にしているそうです。

NGOを運営しているご夫婦の愛、使命感に感動しました。本当に助けを必要としている子供たち、女性たちをサポートしているこのNGOの活動を通して、多くの子供たち、女性たちが大きなチャンスをつかめるという事を感じました。

今回パソコンを贈呈できた事で、子供たちがパソコンに触れ、学べる環境を徐々に作っていける事になると思います。

田舎の学校に文房具とホワイトボードを寄贈

内藤さんのご主人ソナムさんは、シッキム州出身です。とても田舎で学校も少ないので、ソナムさんの友人達が献身的に TPA 学校を作り運営しています。公立学校よりも教育水準の高い学校にする為に頑張っていますが、政府からの支援も無く、設備不足が課題です。



左の地図の 18 番の所がシッキム州です。ネパールとブータンに挟めた山奥で、TPA 学校がある村は富士山よりも標高が高い所です。



5 月に、この学校の子供達に筆入れ、鉛筆、鉛筆削り、消しゴムを贈呈しました。



ホワイトボードは 7 月に寄贈することが出来ました。田舎なので、物を買うのも時間がかかるようです。



机と椅子の板がボロボロだったので、板も寄付して、先生達が修理しました。立派な机と椅子になりました。

シッキムの人々は、日本人に似た顔をしていて、子供達にも親近感を感じます。

でも、生活環境は日本とは違います。将来この子供達がシッキムの発展に貢献できることを願います。

パリワールではボランティア会員を募集しています！

健康に自信のある方、英語で日常会話ができる方、お近くの担当者にご連絡ください（^o^）/

パリワールの活動は会員の皆様の会費で成り立っています。

年会費は1口 3,600 円です。

自動引落としの方は毎年9月末が振替日です。ご注意ください。

自動引落としをされていない会員の方は、

下記の口座へ9月末までに会費の入金をお願い致します。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

パリワール支援金口座：郵便局口座名[パリワール] 記号[15490] 番号[28961881]